

製品名: FAM111A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87767**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:70 kDa; Observed MW:70 kDa

抗原情報

遺伝子名	FAM111A
別名	KCS2; GCLEB
遺伝子 ID	63901
SwissProt ID	Q96PZ2
免疫原	ヒト FAM111A の組み換えタンパク質

背景

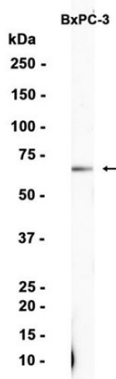
この遺伝子によってコードされるタンパク質は細胞周期によって制御され、核局在する。タンパク質の C 末端側半分はトリプシン様

ペプチダーゼと相同性を有し、増殖細胞核抗原 (PCNA) との共局在に必須の PCNA 相互作用ペプチド (PIP) ボックスを含む。この遺伝子の発現低下は DNA 複製障害を引き起こし、これはサルウイルス 40 (SV40) の複製におけるこの遺伝子の役割と一致する。この遺伝子の変異は、ケニー・カフェー症候群 (KCS) 2 型およびより重篤な骨頭蓋狭窄症 (OCS、別名: 薄骨異形成症) と関連付けられており、いずれも低身長、副甲状腺機能低下症、骨発達異常、低カルシウム血症を特徴とする。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015 年 8 月]

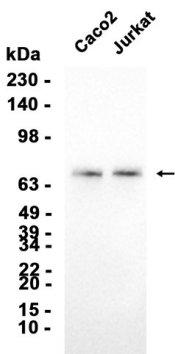
研究分野

-

画像データ



FAM111A ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、BxPC-3 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。



AMRe87767 を 1:3000 で使用して Caco2、Jurkat 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。